

なの花薬局カップ
第40回北海道小学生バドミントン大会

新型コロナウイルス感染症対策

「競技・運営上の注意」

【9月28日改】

北海道バドミントン協会
北海道小学生バドミントン連盟

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会及び北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインに準じて、参加者及び関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 会場への入場制限について

- ①本大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため**入場者の制限を行い、シングルス1名、ダブルス1組につき1名の成人（指導者・コーチ・保護者）とし、大会役員及び競技役員（後援・協賛を含む）及び開催地の補助役員のみとする。**（以下、大会関係者とする）
※応援や線審、敗者主審等のために1名の成人以外の方が入場することはできません。
- ②新型コロナウイルス感染症防止対策のため、**大会関係者は次の書類を必ず提出すること。**
 - 【別紙1・2 大会参加者健康チェックシート】は、主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理します。**（1人1枚記入し提出のこと。）**なお、体調がよくない場合（同居家族を含め発熱・咳・倦怠感などの症状がある）は、自主的に参加を見合わせる。
- ③**発熱者（37.5度以上）の入場を禁止する。**
- ④**大会関係者は期間中、必ずマスクを着用すること。**（試合時及び練習時は除く）
- ⑤**試合当日、予定していた試合等が終了した選手は、順次退館するようお願いします。**
- ⑥「北海道スタイル」安心宣言を掲示し啓発を行う。

3. 会場内で使用する物品について

- ①感染拡大予防として使用する、消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備する。（消毒薬の残量チェックを定期的に行う。）
- ②出入口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し間隔を空けるなど配慮する。

4. 開場時間・受付について

- ①**体育館開場時刻は、午前8時30分の予定です。**
- ②会場の入り口に受付を用意します。「プログラム」、「参加料領収書」、「競技・運営上の注意」、「IDカード（入場証）」「審判等について」などを同封した封筒を受け取って下さい。
受付は、種目ごとに行います。（試合開始予定時刻の1時間前までに受付を済ませること。）
- ③**IDカードは大会期間中、必ず身につけること。**（試合時及び練習時は除く）。
帰る際は、IDカードを回収箱に入れて下さい。

5. 大会会場内に関する確認事項

- ①換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的あるいは常時外気を取り入れる換気を行う。
- ②密を避けるため、組合せやタイムテーブルの掲示はしない。
- ③外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- ④更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
- ⑤食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。
- ⑥**待機場所及び観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行き、席の移動は禁止する。（自チーム選手が試合をしているコート付近観覧席への移動も禁止する。）**応援は声を出さずに拍手で行って下さい（手拍子禁止）。鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援も禁止します。

6. 大会本部

- ①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ②関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。
- ③共用スペース（トイレ・更衣室・食事場所等）及び共有物品については、定期的に消毒を行う。

7. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館で行われるため、換気については特に配慮が求められ、また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含め継続した対応を行う。

- ①遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ②窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ③コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。また、勝者サイン用の黒色の鉛筆またはボールペンを持参すること。
- ④準決勝以降コーチングシートは1席用意し、使用した椅子は、チェンジエンス毎に持ち歩くこと。
- ⑤試合のない選手は、各地区の観客席で待機する。
- ⑥インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。
- ⑦コートのモップ掛けは、毎試合終了後に行う。
- ⑧毎試合終了後に審判台・線審席・得点係席、審判用具等を消毒する。

8. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ①線審、得点係等は、マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ②得点係は、手袋（ビニール）を使用する。
- ③選手同士や審判員との握手は行わない。
- ④トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ⑤コールは、必要最小限とする。
⇒「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑥シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルをかごから取り出し、使用済みシャトルは選手が主審のところにあるカゴに入れる。※定期的に競技役員が確認する。
- ⑦プレーヤー同士やコーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑧汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑨シューズの裏を手で拭かない。
- ⑩意識的に試合中の声出しは、極力控える。
- ⑪コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。（コーチ席がある場合）
- ⑫ウェアの背面文字列表示については、明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣面の文字列表示部分の色と明確に区別できるウェアを着用すること。（ウェアの更衣をお願いする場合あり）
- ⑬各種目とも初回戦を除きそれぞれの試合の準々決勝まで、敗者チームの成人が次の試合の主審、敗者の選手が得点係とします。（敗者主審や線審、得点係のために新たな入場は認めません。）
- ⑭1回戦から準々決勝までは、当該試合の成人が線審を行います。

9. 開閉会式・監督会議・公式練習について

- ①開会式及び閉会式は実施せず、表彰のみ随時行う。
- ②公式練習は行わないが、すべての試合の開始前にシングルスは対戦選手同士、ダブルスはペアで3分間練習を行う。その場合、それぞれの選手がシャトルを持ち寄ること。

10. その他

- ①会話をする場合、マスクの着用を励行する。
- ②適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ③ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り、自宅で処分する。

◎今大会は新型コロナウイルス感染予防の観点から、例年のような大会運営とはならない状況にありますが、感染者を出すことなく無事に大会を終えたいと考えています。皆様の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。